

外務省大臣官房業務合理化推進室「お気軽相談プラットフォーム」 【人材開発部門（本省）】

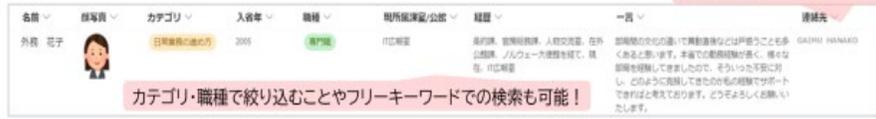
受賞した取組において工夫したことを教えてください！

省内で実施したアンケートにおいて、「キャリア形成の参考となるロールモデルが身近にいない」、「自分のキャリアパスが描けない」等の現状が明らかになりました。これを受けて、多様なバックグラウンドを有する「有志職員」がカジュアルに「話し相手」となり、幅広い悩みに対してアドバイスができるようなプラットフォームを立ち上げることを企画しました。相談の相手役となる「有志職員」は、当初、運営側で候補者をリストアップし声をかけましたが、取組が広がるにつれ、趣旨に共感し自ら「有志職員」として協力を申し出る職員も多く現れます。また、IT担当とも連携し、省内のイントラネットに掲載された各「有志職員」のプロフィールにある「連絡先ボタン」を押すだけで、何時でも簡単に「有志職員」に連絡が取れるように工夫しました。

■ プラットフォーム イメージ

- ・ 入省年、職種、経歴の他、一言メッセージ(どのような相談に対応可能か等)、連絡先を掲載。
- ・ 幅広い職種、年代、経歴、所属(本省・在外公館)の職員が多様なお悩みに対応。

連絡先ボタンから、メール&チームスチャットで、いつでも簡単に連絡が可能！



受賞後について教えてください！

受賞をきっかけに、「プラっと相談」の取組を改めて省内に周知し、利用申請者のみならず、「有志職員」としての協力の申し出も更に増加しました。

これを機会に、運営側が選んだ「有志職員」へのインタビュー記事を省内に広報する取組も行っており、こちらも好評を博しています。



プラっと相談

お気軽相談プラットフォーム

また、Teams上に「もっとプラっと相談」という名のチームを作成し、複数のテーマごとに設定したチャンネル上で職員同士が相談できる仕組みを作りました。一対一の閉じた関係の中での相談ではないので、相談者は一回の投稿で複数のメンバーから回答をもらえるので、「一粒で何度も美味しい」、効率的な情報収集が可能になりました。また、その投稿を見た他のメンバーが関連の投稿をすることで、議論が更に広がっていきます。

外務省では、職員の半分以上が在外公館に勤務していますが、特に家族を帯同する職員には、在外公館赴任に伴い様々な悩みが生じます。この「もっとプラっと相談」では、在外公館赴任に伴う主なお悩みを「赴任時」「現地での教育」「家事補助帯同・現地雇用、在外ワンオペ」「帰国後」「その他なんでも」といった具合に個別のチャンネルを設けたところ、各チャンネルで、活発なやりとりが繰り返されています。

職員へのメッセージをお願いします！

昨年6月に内閣人事局の「ワークスタイル変革取組アワード」人材育成部門本省の部において最優秀賞を頂戴して以降、有り難いことに、他省庁からも多くのお問合せをいただいております。私たちの取組を参考にさせていただけることを大変嬉しく思っています。応募に当たっては、しっかりと制度的に確立した取組でないといけないのではないかと躊躇されることがあるかもしれませんが、新しい取組・小さな取組であっても応募してみるのが良いと思います。「プラっと相談」も昨年の応募当時は開始間もない取組でしたが、思い切って応募をしたところ多くの国家公務員の皆様の支持をいただき、受賞したことで省内外における認知度が一気にアップし、取組の輪が大きく広がりました。

業務合理化・DXや働き方改革は、楽しくまた仲間を作りやすい仕事とも言えます。自らの職場における課題を特定し、関心を持つ仲間を集め、その課題を解決するためのアイデアを持ち寄って行動に移せば、自然と職場の意識も変わってくるのではないのでしょうか。まずは実践してみて、理解者の輪を広めていくのが有効と感じています。第2回の「ワークスタイル変革取組アワード」の実行委員の皆さんが頭を抱えるくらいの意欲的な取組の応募が集まることをお祈りしております！